



講堂のステージにて撮影

小牧高校 100年のあゆみ

- 大正 13 年 4 月 旧制小牧中学校 開校
- 昭和 4 年 3 月 第 1 回卒業証書授与式
- 昭和 4 年 3 月 講堂、正門竣工
- 昭和 17 年 4 月 小牧町立小牧高等女学校 開校
- 昭和 21 年 4 月 小牧高等女学校が、愛知県立に移管
- 昭和 23 年 4 月 小牧高等女学校が、県立小牧南高等学校に改称
- 昭和 23 年 4 月 小牧中学校が、県立小牧高等学校に改称
- 昭和 23 年 5 月 定時制課程普通科を設置
- 昭和 23 年 10 月 県立小牧高等学校と県立小牧南高等学校を統合
- 昭和 24 年 1 月 定時制古知野分校設立
- 昭和 24 年 4 月 総合制高等学校として新発足
- 昭和 42 年 3 月 旧本館、旧体育館の撤去作業開始
- 昭和 43 年 8 月 防音校舎全館完成
- 昭和 44 年 10 月 プール、体育館完成
- 平成 14 年 4 月 全日制普通科 24 学級、夜間定時制普通科 4 学級となる

特集

県立小牧高等学校

創立100周年

小牧高校は、大正13（1924）年に旧制中学校として創立されました。令和5（2023）年に創立100周年を迎え、3万人を超える卒業生を送り出してきました。

この記念すべき年に、実行委員会の生徒が中心となって、小牧駅前周辺イルミネーションの審査やギネスワールドレコードへの挑戦など、さまざまな記念事業を行ってきました。今回は、この記念事業の一環として、令和5年11月10日に「高校生まちづくりスクールミーティング」を行いました。



▲令和5年9月29日、記念式典の様子

歴史の目撃者、講堂と門柱

小牧高校の講堂と門柱は、いずれも昭和4年に建てられました。

講堂は鉄筋コンクリート造で、正面入口や建物内部に装飾が施されています。公立高校に残る旧講堂の
中でも、これほど意匠が加えられた講堂はほかにないと言われるほど、質が高く際立っています。



正門の門柱は、市内で初めて国の登録有形文化財（建造物）に登録されました。講堂と同じく鉄筋コンクリート造で、主門柱と脇門柱各2本で構成されています。柱頂部にアカンサスの葉の装飾が付いています。講堂と門柱は、いずれも昭和初期の教育施設の様相を今日に伝える、歴史的価値のある建物です。

貴重な文化財を守るために

講堂と門柱は、建立から94年が経ち、深刻な老朽化が進んでいます。小牧高校では、この貴重な建物を100年先の未来へと引き継いでいくために、改修のための寄付を募る予定です。

詳細は小牧高校（☎77・1231）までお問い合わせください。



正門門柱前にて撮影



講堂内にて撮影

Aグループ 多文化共生 ～外国人が安心して暮らせるまちづくり～



小牧市のいいところ

小牧市は自然が豊かで環境が整備されている、暮らしやすいまちだと思います。四季の森やメナード美術館、小牧山など、魅力的な場所がたくさんあります。また、とても清潔なまちだと思います。

小牧市のホームページは、多

言語で見ることができるようになっていて、外国人に必要な情報も見やすくまとめられており、とても便利です。



言語の壁を なくしてほしい！

国際教室で、外国語を話すことができる先生から日本語や日本の文

こんなことで困った…

アルバイトの面接で、ヒジャーブ（イスラム教徒の女性が顔を隠すスカーフ）を着けていたことで、断られたことがあります。

また、病院では難しい用

語が使われていて、通

訳がないと、病気の

原因や治療のことが分

からないままです。



宗教や外国の文化の ことを知ってほしい！

日本でなじみのない宗教や文化のことを、知ってもらう場所があるといいと思います。

例えば、外国人と日本人が交流できるグローバルラウンジができるといいなと思います。

他にも、その国のダンスや音楽、食べ物などを楽しみながら理解できるフェスティバルもいいと思います。

市長コメント

化を学ぶことができれば、もっと理解しやすくなります。

また、市からの情報が載ったパンフレットやホームページもありますが、スマートフォンで簡単に情報を見ることができるよう、多言語に対応したアプリがあると便利です。

Charity begins at home. 「善行はまず家から」という意味です。小牧市から取組が広がると、日本全体で外国人も安心して暮らせると思いました。

小牧市には、約60カ国から1万人を超え
る方が来ています。お互いに相手の文化を
理解して、認め合うことはとても大切です。
市としても、外国籍市民の方に必要な情
報を届ける努力をしていきます。同時に、
外国籍市民の方にも、必要最低限の日本語
を身につけていただくことが必要だと思
います。



Bグループ 歴史・文化・観光

～小牧市の魅力UPのために～

これまでの100年、これからの100年、高校生の主張

高校生から見る小牧市

小牧市のいいところは、歴史のあるものに見えたことがあること、遊び場があること、メインストリートに季節感があること、デザインが素敵な図書館があることです。

弱点だと思うところは、商業施設に元気がないこと、市外から人が来ないことです。



高校生はSNSで

遊びに行く場所を探している

小牧高校に通う生徒の約8割は、①インターネットの検索エンジンで場所を調べる、②既にその場所へ行った人たちが投稿したSNSを見る、③行ってみたいと思ったら行ってみ

る、という方法で遊ぶ場所を探していることが分かりました。

小牧市に

「映え」スポットを！

そこで私たちが考えたのは、モニUMENTなどの写真スポットを作ることです。小牧山城が入るモニUMENTや、親子で楽しめるモニUMENTなどを作って世界に発信すると、小牧市に遊びに来る人が増えると思います。

そして、スタンプリーなども用意して、SNSでの投稿やスタンプリーへの参加をすることで、割引券やプチギフトをもらえるようにすると、SNSでの発信も増えると思います。

SNSの力を侮るなかれ

SNSの発信は、県や国を越えて行うことができるだけでなく、CMのようにお金がかかることはありません。また、SNS上で話題になることで、市内のお店にお客さんが集まるようになり、有名店も小牧市に出店してくれるかもしれません。



市民が自慢できる魅力を

新しいものを作るには予算が必要ですが、歴史・文化・観光が一つになったとき、とても魅力的なまちになると思います。

小牧市は子育て支援も手厚く、大きな企業もある住みやすいまちです。だからこそ、市民が自慢できる魅力を作り上げたいです。

市長コメント

何か核になるスポットができて、人が集まるからお店ができる、お店ができればさらに人が集まる、という循環が生まれると、もっと活気あふれるまちになると思います。



▲縁結びのパワースポット!?
小牧神明社の「連理の枝」について説明
しています

Cグループ SDGs

～小牧高校SDGs～

100年先の未来に向けて考える

未来に向けての100年、多くの挑戦と機会が待っています。未来を考えるときには、SDGsを忘れてはなりません。SDGsは、私たちの未来に向けて重要な目標を示しています。私たちは、持続可能な未来を築くために大いに貢献できるはずです。

中庭チューリップ編

小牧高校では、公益財団の方から寄付していただいたチューリップを中庭で育てるようになりました。

中庭はあまり使われていなかったのですが、土壌改良のための肥料が必要でした。そこで考えたのがチヨークです。高校で使っているチヨークの成分は炭酸カルシウムで、土壌改良に使えることが分かりました。学校中の教室から、土壌改良に十分な量の使用済みチヨークが集まりました。

球根を100個ほど

植え、先生や用務

員さんに協力し

てもらい、きれ

いに咲かせるこ

とができました。



コンタクトケース回収編

コンタクトケースは、再生ポリプロピレン素材としてリサイクルされ、車や家電の部品、洋服、文房具などに生まれ変わります。

小牧高校では、一日や一週間ごとに交換するコンタクトレンズを使用している人が多く、空のコンタクトケースも多く捨てられていました。

そこで、ケースの回収を呼びかけたところ、学校全体で合計5,090個、約5kgも集まりました。

ケース自体は小さいのですが、適切な方法で回収することで、温室効果ガスやごみの排出量削減、海洋生態系への悪影響の軽減など、環境

保全にとって大きな力になるのです。

また、リサイクル準備の作業や回収協力者へ贈る小物製作には、障がいのある方に従事していただき、さまざまな方が輝ける未来につながっています。

この取組に協力してくださる人にも感謝し、より多くの人が参加できるようにPRしていきたいです。

みんなで力を合わせて

これからの100年、地球環境を守るために、私たちの世代がSDGsを達成して、力を合わせて歩むことが大切です。持続可能な未来に向けて、一丸となって頑張りましょう。

市長コメント

SDGsにはいろいろな観点がありますが、環境は身近なテーマですね。子どもや孫の時代まで、地球環境をしっかり守らないといけません。身近なことから行動していくことが大切です。



▲当日の様子は
こちら

市長講評

皆さんそれぞれ熱心に自分たちの思いを含めて発表いただき、ありがとうございました。今回の発表では、若い世代の皆さんの感覚を肌で感じる事ができ、非常にありがたい機会でした。

まちづくりは、行政だけでできることではありません。地域の皆さんや企業・学校・市民団体の皆さんが一緒になって進めていかないとできないのです。皆さんも一人の市民として、また小牧高校の生徒として、いろいろ思うことがあると思います。ぜひ今日を機会に、まちづくりや社会について関心を持って、できることから始めてみてください。

